

科目名	看護解剖生理学 I (人体の基本構造)					DP4 DP6	看護高等課程
学年	1年	分野	専門基礎 人体のしくみと働き	時間数	13時間	担当 教員	専任教員
科目 概要	人体の解剖生理学の知識は、看護の重要な役割である日常生活行動の援助の土台となる。また、ほとんどの日常生活行動は、複数の器官が関与して行われる複雑な機能であり、生活行動の観点から学ぶ。ここでは、人体の基本構造と実際の解剖見学を通して学ぶ。						
到達 目標	1. 体を構成するしくみを理解することができる。 2. 体や臓器を守るしくみを理解することができる。						
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員
1~3	看護の土台となる解剖生理学	解剖学、生理学とは、解剖学的用語、ホメオスタシス(恒常性)、フィードバック機構				講義	専任教員
	細胞と組織	細胞と組織(体を構成するしくみ) 細胞の構造と機能、人体を構成する組織(上皮、支持、筋、神経)組織					
	皮膚と膜	皮膚と膜(体や臓器を守るしくみ) 体内の膜(漿膜、粘膜、結合組織系の膜)、皮膚の構造と機能、体温の分布、熱の出納、体温調節					
4	解剖見学オリエンテーション	解剖見学の方法、事前課題とグループ演習				講義 演習	
5~6	解剖見学	福岡大学病院 解剖見学				演習	
7	試験	(1時間)				試験	
評価 基準	100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。						
評価 方法	出席状況と講義演習への参加態度、課題レポート、筆記試験などで総合的に評価する。						
教科書	新看護学1 専門基礎 [1] 人体のしくみとはたらき 必要時、資料等は配布する。						
履修上の 注意点	解剖見学においては、事前学習課題とグループワークを行い、見学目標を明らかにして臨む。						